

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、中央検査部では、本学で保管している診療後の残余検体と診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 腹膜中皮細胞の面積の計測

[研究対象者]

2024年7月から2026年7月の間に、東京女子医科大学病院に通院、または入院中の方

[利用している残余検体・診療情報等の項目]

残余検体：CAPD 排液（保存スライドがあるものに限る。）

診療情報等：診断名、性別、CAPD 排液中の中皮細胞の核の数、微量蛋白、ALB、BUN、CRE、電解質

[利用の目的] （遺伝子解析研究： 無 ）

腹膜透析とは、自分のお腹にある膜を透析の装置として用いる方法です。腹膜透析の期間が長くなるにつれて、合併症のリスクが大きくなると言われています。今研究では、腹膜透析時の排液（CAPD排液）の中に出現する細胞の面積を計測し、各合併症や腹膜透析の維持の指標となるかを調べます。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2030年7月31日までの間（予定）

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治

研究責任者：東京女子医科大学 中央検査部 技師長 三浦 ひとみ

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 中央検査部 主任 塚原 祐介

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9 時～16 時）内線：28343